

姉妹都市を身近に アウクスブルク市紹介展を開催

平成 21 年 11 月 12 日から 23 日にかけて、「ドイツ・アウクスブルク市紹介展」を開催しました。アウクスブルク市の街並みや、尼崎市との交流の歴史を伝えるパネル等が飾られました。(主催：尼崎市、共催：尼崎市国際交流協会、尼崎市総合文化センター)



開催初日の 12 日には、尼崎市総合文化センターでテープカットが執り行われました。



(左から)尼崎市国際交流協会吉田会長、白井市長、尼崎市総合文化センター松下事務局長

紹介展では、アウクスブルク市から贈られたパネル 39 枚のほか、アウクスブルクを描いたイラストレーター大音恭豊氏の作品、これまでにアウクスブルク市から贈られた記念品なども展示されました。



イラストレーターの大音恭豊氏と作品



ブッペンキステの人形も展示されました



紹介展の様子

アウクスブルク市を訪れた人々には懐かしく感じられ、また、訪れたことのない人も写真やスケッチ、DVD 等から姉妹都市を身近に感じられる展示でした。

最終日には、アウクスブルク市青年使節団員も見学しました。



紹介展を見学するアウクスブルク市青年使節団員

展示内容

- 1 アウクスブルク市制作「歴史編」
- 2 アウクスブルク市制作「一般編」
- 3 アウクスブルク市制作「尼崎編」
- 1 尼崎市制作「アウクスブルク市民の生活」
- 2 尼崎市役所本庁写真部作品
- 3 イラストレーター大音恭豊氏の作品